科目コード	R7031	科目名	義肢学（演習を含む）				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	渡邊　哲也						
授業の概要	講義では、義肢を下肢の義肢(義足)と上肢の義肢（義手）に分類し解説する。切断者のリハビリテーションについて概説したのち、断端ケア及び切断者の心理面のケア、切断高位別義肢の種類・構造・機能・適合判定・制御などの基本的な知識を学修する。						
DPとの関連	①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						ー
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						◎
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						○
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						ー
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください						
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	・臨床現場において応用できる最低限の知識を得る。 ・切断者に対するリハビリテーションについて説明し、断端ケア、義手の使用・訓練、チェックアウトを実施することができる。						
履修上の注意事項	義肢の取り扱い及び管理を適切に行うこと、物品の使用については衛生管理を適切に行うこと、メディアの使用は指示された場合以外は使用しないこと						

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	オリエンテーション・義肢概論	切断者の実際について様々なメディアを視聴し、予備知識を習得しておく
2	切断の分類	教科書P4～10を確認し、切断についての概要を把握すること
3	切断部のケア・弾力包帯の巻き方	プリントを確認して巻き方の手順を理解すること。またプリントを見ずに巻くことができるようにすることと。
4	義手の分類	教科書P12の4つの義手について、目的を確認しておくこと
5	義手を構成する部品と構造	各義手の継手、ソケット、ハーネス、手先具について確認しておくこと
6	コントロールケーブルシステムと操作	教科書P23、24に記載されているコントロールケーブルシステムについて構造を確認すること
7	義手の訓練の流れ	教科書P33～、P49～の症例から、訓練の実際を確認しておくこと
8	前腕義手　チェックアウト	前腕義手のチェック項目を確認しておくこと
9	前腕義手　チェックアウト	不適合時の原因について確認しておくこと
10	上腕義手　チェックアウト	上腕義手のチェック項目を確認しておくこと
11	上腕義手　チェックアウト	不適合時の原因について確認しておくこと
12	筋電義手	筋電義手の実際について様々なメディアを視聴し、予備知識を習得しておく
13	義足概論	教科書P88～101において義足を学ぶポイントを確認しておくこと
14	まとめ・課題演習	国家試験の問題に対応できるよう知識の再確認をお行うこと
15	まとめ・課題演習	国家試験の問題に対応できるよう知識の再確認をお行うこと

成績評価方法	期末試験100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	義肢装具学 15レクチャーシリーズ　作業療法テキスト ・ 種村留美、白戸力弥、石川　朗（中山書店）	978-4-521-75049-1
参考書		

教員からのメッセージ	切断者の疑似体験は難しいため、様々な文献を読み、切断者・義肢装着者のイメージをつけておくと、講義内容の理解が進みます。
教員との連絡方法	別途、オフィスアワーを指定します。
実務経験のある教員	